

ホームページのほかに市公式フェイスブック（2月19日現在、2693いいね！）でもまちの出来事を紹介しています。ぜひご覧ください。

2/7~9 なよろ雪質日本一フェスティバル



第68回なよろ雪質日本一フェスティバルが2月7日から9日に南広場で開催されました。各地のグルメが出店した「星★きれいな南市場」や巨大滑り台、スノーモービル遊覧のほか、8日にはもちまきやもちつき、狩野英孝さんのお笑いステージショー、9日には雪上サッカー大会や5色綱引き大会などのイベントが開催され、今季一番の寒さの中多くの人が訪れ冬を楽しみました。

今年の国際雪像彫刻大会はチームタイが優勝

2/15 雪あかりコンサート2020



北国博物館で開催され、高校生や市内団体がオーケストラを演奏。参加者は一緒に口ずさんだり、リラックスしながら聞いたりして、演奏が終わると大きな拍手が送られていました。

およそ120人の市民が来館し、奏でる音色に聞き入っていました

2/10 ふるさと未来トーク



中名寄小学校で市長と教育長との懇談会が行われ、児童たちは『こんな名寄市になってほしい』をテーマに安全・安心の取り組みや冬の観光、農業者支援などを意見を発表しました。

授業が終わると一緒に給食を食べて交流しました

2/15~16 ふうれん冬まつり



第36回ふうれん冬まつりが風連町仲町特設広場で開催されました。16日の本まつりでは、ジャンボ滑り台やトナカイのそり引きなど数多くのアトラクションが用意され、どれも長い列をなして並んでいました。もちつきでは幼児や児童たちが参加し、一生懸命にもちをついていました。その日の午後からは北風に変わり、寒さを強く感じるようになりましたが、恒例行事となった全日本長靴飛ばし選手権では、寒さを蹴り上げるかのように足を思いっきりふり抜いていました。

風連地区の冬の大イベント

1/19 なよろサンピラー10マイルスノーマラソン大会



サンピラー交流館周辺で行われ、85人のランナーが参加。ところどころツルツルとなっている路面に注意を払い、各々のペースでランニング。お互いを声をかけ励ましあって走っていました。

太陽光が強く差し込み、絶好のランニング日和となりました

2/1 児童センターでまめまき



約20人の子どもたちが参加し、節分に関する絵本の読み聞かせを聞いたあと、豆を入れるさんぽうを作成。鬼がやってくると元気よく豆をぶつけて鬼を追い払っていました。

鬼を追い払った後は、福の神を迎え入れました

2/8 北の天文字焼き2020 東小スノーランタンフェス



北の天文字焼きと東小スノーランタンフェスティバルが同日に開催。当日の夜は冷え込みましたが、寒さを忘れ、暗い景色に灯るそれぞれの明かりを堪能していました。

天文字焼きが完成すると夜空に花火があがりました

1/15 冬休み子ども科学教室



智恵文中学校理科教室で開催され、親子合わせて15人が参加。3グループに分かれて、それぞれ万華鏡づくり・入浴剤づくり・噴火実験を順番に体験しました。

目をキラキラ輝かせながら体験していました

1/31 Nスポーツコミッション スポーツ講演会「ゴルフ人生」



市民文化センター多目的ホールで開催。約170人の市民が参加しました。中嶋さんは、ゴルフを始めたきっかけや若い選手の裏話など軽快にトークを展開し、会場は常に笑いが絶えませんでした。

世界的プロゴルファーの中嶋常幸さんが講師

2/2 おもちゃ博inなよろ



名寄市社会福祉協議会が主催し、市民文化センターで開催され、多くの親子連れなどでにぎわいました。障がいや性別に関係なく、友達同士や親子で楽しくおもちゃで遊び交流を深めました。

おもちゃのほか、産業高校生による工作コーナーも設置